

広島県公立大学法人第四期中期目標（案）について

令和6年10月30日
高等教育担当

1 次期中期目標に係る基本方針

【全体方針】

2 大学を擁する法人として、叡啓大学の設置経緯を踏まえて、県立広島大学と叡啓大学の役割の違いを明確にし、それぞれの大学が目指すこれからの社会で活躍するために必要となる資質・能力を身に付けさせ、社会に送り出すことを使命とし、以下のとおり取り組む。

○ 県立広島大学

現中期目標期間中に明らかになった教学マネジメントの確立や大学院教育の高度化・再編等の改善点に対応しながら、これまでに行った改革の取組を更に発展させ、地域社会で活躍できる実践力ある人材の育成に取り組む。

HBMSにおいては、他大学との差別化を図り、全国を市場として、より一層の発展を目指すため、新たなカリキュラムの開発や自律的な運営に向けた外部資金の獲得促進等に取り組む。

○ 叡啓大学

叡啓大学の特徴的な教育内容について幅広い認知を得るとともに、より多くの志願者を獲得するための取組を強化することに加え、学年完成を踏まえ、これまでの教育成果を検証し、更なる発展に向けて、教育の充実、産学連携の推進、ブランディングの推進等に取り組む。

○ 法人

法人におけるガバナンス機能を適確に発揮し、効率的かつ効果的な法人運営体制の確立や、職員の育成・専門人材の確保等に取り組むとともに、経費の抑制と外部資金の獲得に取り組む。

2 中期目標に記載すべきポイント

ポイント	反映箇所
① 現中期目標期間における中間評価結果の課題等への対応 ▶県立広島大学…教学マネジメントの確立、総合学術研究科定員充足率の改善 ▶叡啓大学…志願倍率向上	・基本的な考え方 ・Ⅱ 1 (1) ウエ ・Ⅱ 2 (5)
② 両大学の更なる発展に向けた取組の方向性（HBMS ビジネスプラン・叡啓大学中期ビジョン）、知事からの指摘事項の反映 ▶外部資金の獲得促進 ▶叡啓大学の認知度・ブランド価値向上	・Ⅱ 1 (1) ウ ・Ⅲ 2 (1)
③ <u>法人におけるガバナンスのより一層の強化、1 法人 2 大学体制による効果的・効率的な法人運営、経費の抑制と外部資金の獲得</u>	・基本的な考え方 ・Ⅲ 1 (1) ・Ⅲ 2 (1) (2)
④ 次期中期目標期間中に予定されている改組等の動向 ▶県立広島大学…情報系分野の学科設置	・基本的な考え方 ・Ⅱ 1 (1) イ

3 評価委員会及び法人からの主な意見への対応方針

該当部分	主な意見	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な考え方 	<p>【共通意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立広島大学・叡啓大学それぞれの設置目的・役割等を明記してほしい。 <p>【法人意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立広島大学と叡啓大学を機能面で区分するのは難しいため、叡啓大学の設立趣旨から県立広島大学との役割分担を整理してはどうか。 ・ 各大学の具体的な取組は中期計画に書き込むため、中期目標では方向性を示してほしい。 ・ 叡啓大学の「協創と深耕のスパイラル」については、中期計画に記載するため、中期目標では、教育と社会貢献の要素が分かる記載にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>叡啓大学の設置経緯等を踏まえて、県立広島大学との役割等の違いについて説明できるよう記載内容を修正。</u> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>専門分野以外を含めた幅広い学び、アクティブラーニング、国際性 や多様性の理解を深める教育等は、両大学で行われている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学の取組については、教育に関する目標等の項目で記載することとし、<u>冒頭部分の記載からは削除。</u> ・ 「協創と深耕のスパイラル」については、中期計画において記載することとし、中期目標では、「<u>教育と社会貢献の要素</u>」が分かるような記載に修正。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な考え方 ・ II 2 (3) 	<p>【評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 叡啓大学は、全国に先駆けて、新たな教育モデルの実践に取り組み、その成果を県内大学・高校等に普及させていく役割もあるので、中期目標に記載すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置申請書類等にも記載しており、叡啓大学の役割であることから、II 2 (3)に、<u>新たな教育モデルの普及に関する記載を追記。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・ II 2 (5) 	<p>【評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者確保は喫緊の課題であるが、大事なことは、叡啓大学の魅力を高めることであり、そうすれば志願者は集まってくる。 <p>【法人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者確保は重要な施策であるため、柱建てが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 叡啓大学の教育内容について広く認知され、多くの志願者が集まるよう取り組むことは、ブランド価値向上の取組と併せて重要な取組であることから、<u>再度、柱建てして記載する。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・ III 1 (1) 	<p>【評価委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効率化と記載することにより、人員削減のみの観点となることが懸念されるため、注意してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価委員会意見も踏まえ、III 2 (2)の経費の抑制について、<u>人件費の抑制自体が目標とならないよう修正する。</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・ III 2 (2) 	<p>【法人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経費の抑制について、人件費削減自体が目標とならないよう、経費抑制の一つの手段として人件費の適正化を図る内容にしてほしい。 	